

令和3年度 第3回四日市市立図書館協議会会議要録

1. 日 時 令和4年3月24日(木) 午後3時～午後4時20分
2. 場 所 四日市市立図書館 3階 会議室
3. 出席者 松井真理子会長、岡田博子委員、竹下すま子委員、
竹内裕子委員、前田匠委員、
(会長のち、五十音順)
図書館：高嶋純子館長、村林知可子副館長兼管理係長、
4. 欠席者 福永智子副会長、中井孝幸委員、藤田一樹委員、渡部通廣委員
5. 傍聴者 2人
6. 議事録概要
 1. はじめに
 2. 議題
 - (1) 令和3年度下半期における図書館事業の報告について
 - (2) 令和4年度図書館事業方針(案)について
 - (3) 令和4年度図書館実施予定事業について
 - (4) 令和4年度の休館日について
 - (5) その他
 3. おわりに

1. はじめに

【館長挨拶】

2. 議題

図書館協議会条例第5条により、松井会長が議長となり、議事を進める。

【出席者確認・会議成立確認】定数9名、出席5名。

【傍聴者確認】2名。

【非公開範囲の決定】適宜、諮るものとされた。

2. 議題

(1) 令和3年度図書館事業報告等(令和4年1月以降)について

会長：読みきかせなどの事業が中止になることについて、利用者から何とか実施してほしいなどの声はないか。諦めているような状況か。

図書館：実施できない状況について理解をして頂いているのか、今のところそのような意見は伺ってはいない。

委員：目に見えないものなので、出来ると嬉しいが、読みきかせのボランティアとしても、この状況での中止はいた仕方ないと思っている。早く出来るといい

などと思っている。

（２）令和４年度図書館事業方針（案）について

（事務局資料２説明）

委員：今年度と見比べて、「ボランティアの育成、支援についての取組に努める」部分が抜けているのは少し寂しい気がする。どこかに入れていただけるか。こちらから支援をお願いする時に事業計画に挙がっていないので断られたりしないか不安になる。

会長：考えとしては、令和３年度に１０項目あったものを整理して、削ったのではなく６項目にまとめたということか。

図書館：集約のうえ、次年度の事業報告に沿えるような計画とさせてもらった。ご理解いただけるとありがたい。

会長：そういった意図であるならば、問題はないかと思うが漏れがないように文言としては戻してもらいたい

図書館：文言を修正のうえ、修正した事業計画書を後日報告させていただく。

委員：『新図書館の整備に向けた検討』で具体的な検討とあるがこれについては後でまた報告があるのか。

図書館：今現在の具体的な検討の内容ではないが、少し現在の状況についての資料を配布させてもらっており、後で説明させていただく。

会長：『活字での読書が困難なかたへの図書館サービスの充実』について、視覚障害者だけではなく、その他の障害により読書の困難な方への取組として次年度に向けて、どのように多様な障害のある方に対してサービスを行っているのか、またそれを使っていただくための処方はどのようなものを教えていただきたい。

図書館：視覚障害までとはいかない、文字の見にくい方に対しては大活字本や拡大読書器を用意している。また、寝たきりの方たちに利用申請の登録は必要ではあるが利用していただいている。

図書館：現在、担当者が利用促進のためのチラシ作りを進めている。利用してもらうための周知に前向きに取り組んでいる。

会長：寝たきりの方とかに使ってもらえればといったイメージをされていて、使ってもらうためには、より多くの人に知ってもらう必要があるのではないかと
思っている。折角取り組むのであれば普及方法も考えてもらうほうが良いと
思ったが、進めてもらっているようなので楽しみにしている。

自分が関わっているNPOで、地域の高齢者の方向けにやっている常設カフェがある。そこで障害のある人や働きにくい人たちがトレーニングの一環として図書館の紙芝居を利用して、高齢者の方たちに喜んでもらうように読んでもらっている。図書館の利用の仕方としていろいろなやり方があると思う。

(3) 令和4年度図書館実施予定事業(案)について

(事務局資料3説明)

委員：『デジタル化資料閲覧サービス事業費』について、以前から要望があって実施するのか。

図書館：利用者からの要望があってというより、新図書館に向けて職員も使っていく必要もあることから導入をしていくことになった。今後、更に充実させていきたいと思っている。

委員：是非、お願いしたい。

委員：利用する際に対応をするのは、業者の方なのか職員なのか。

図書館：パソコンの配線などについては、業者に委託するが、使用する際は、利用者ご自身で使われる方、端末の扱いについて職員の案内が必要な方、それぞれ利用者によって違うが、外部の業者が関わることはない。

委員：子供たちに、現在学校で新聞などの情報を学習する機会を設けている。ここでは、図書館の端末で使って閲覧するとのことであるが、学校の端末からアクセス出来て、欲しい記事を送っていただけることがゆくゆく可能であれば、学校単独で新聞を導入することが難しいので、市全体で検討していただければといったことを期待している。学校図書館と図書館との連携は、これからの時代にあったデジタルのやりとりに繋がり、学習にもつながるのではないかということを感じた。

もう1点、中止になった行事について、4年度も同様な状態になった場合どのような対応を考えてみえるのか。当初から日課性の講座を開くことがわかっているのであれば、ボランティアの方が図書館にいて、ウェブの会議なり配信を使って、家庭でもそれぞれの場所でも見れる状況にすれば、もっと利用が広がるのではないか。中止にしなくてもボランティアの方たちの活躍を維持することが出来るし、そういった活動のすそ野を広げることににつながるのではないかと思っている。

会長：民間などではそういった活動はされていないのか。

委員：読みきかせは基本、子どもとともにやることなので画像をみるだけならばテレビと同じになってしまう。出来る限り読みきかせは子どもがいる空間で行いたいと思っている。感染症対策で子どもたちに、近寄らず間隔をあけてとやってやるのは非常にやりにくい。感染が収まって普通におはなし会をやることを待ち望んでいる。

委員：おそらく読みきかせの意味合いや魅力はそこにあると思っている。

このことはそういったことが壁になっているとは思っている。

事業方針の中で、視覚障害及びその他の障害者の方へのサービスの充実についての話があったが、読みきかせの部分で図書館に行けない方、図書館に行けず子どもに読みきかせを体験させてあげたいと思っている方、家に引きこも

っている方に画像を配信することで、もっと世界を広げる、こちらに来ていただくきっかけ作りにはなるのではないかな。

画面越し、音声のみであってもなにか一つの事業としては繋がるのではないかな。

持っているものは残しつつ、新たな部分での広がりには繋がるのではないかな。

ゆくゆくは学校にも配信してもらえればありがたいと思っている。

委員：オンライン化で今までできなかったことがいろいろと出来るようになっていくことがある。広がりを持つはいい事ではないかな。

会長：WITH コロナの中で何が出来るのかを考えていくことで逆に、新しい可能性が生まれてくるといった事例は出てきている。いろいろと工夫をしていくことには意味があるし、それが学校とかの新たなつながりが生まれたり、今まで行けなかった人とのつながりが生まれるのであれば、すごく大事で意味のあることだと思う。

委員：そのような動きがあるのであれば、協力はさせていただく。

委員：ボランティアの方たちの活躍は学校にとっては大変有難いと思っている。子どもたちの読書活動の推進に繋がる。先ほどボランティアの育成、拡充についての話も出ていたが、読み聞かせを聞くだけでなく、その方たちと触れ合い、活動を知るなど、大人になってからのボランティア活動につなげていくことにもなる。本を通してそんなことを学んでいくことも良い事だと思う。

会長：可能性の生まれる良い意見だと思う。

会長：ネットでの配信などを進めて行くうえでの技術的なことは図書館でフォロー出来る体制は出来ているのか。

図書館：読みきかせについては、著作物の許諾の関係もあり、すぐに何でもできるというわけでもない。図書館として研究はしていきたい。

委員：学校現場では、著作権の問題はそれほど難しい事ではない。

委員：まずは学校から試みるといいのではないかな。

(4) 令和4年度の休館日について

(事務局資料4 (カレンダー) 説明)

質問事項については特になし

(5) その他

新図書館について説明させていただく。

配布した資料は、市の政策推進課が令和4年1月21日の議員説明会において、新図書館整備に向けた検討・協議についての説明をした際に配布したものである。

委員：資料を見たところ、図書館の広さとしては、平成30年度に策定した基本計画に沿ったものになっていること、駐車場についても検討していくとのことなので良い方向にはいくのかとは思いますが、運営形態について記載がない。や

はり、指定管理ではなく、市が、教育委員会が、直営で運営していく図書館であることは、図書館協議会の意見として上げてほしいと私は思っている。建設の方向に進んでしまうと管理形態も抱き合わせになっていつの間にか民間運営になってしまっている他の市町の図書館を見受けることがよくある。

平成29年にも意見書を図書館協議会で提出していると思うので、再度その内容で提出していく必要があると思うが協議会の皆さんはどう思われるか。

委員：私も運営に関しては、民間に丸投げのマイナス面を危惧しているところなので是非協議会がまとめた意見書を提出していただきたい。

会長：前回の意見書の提出から協議会の構成メンバーも変わっているので、新しい構成メンバーで状況が変化していても、言いたいことは変わらないので再度あげていくのでいいのではないのか。

項目としては、本の冊数、駐車場の利便性や台数の確保、それと運営形態の何点かあると思うが、場所が変わってこれからの計画の策定に向けても、前回の内容と変わらず意見書を提出していくということでもいいか。

4月以降に委員の方で変わられる方はみえるのか。

図書館：来年度変わられる予定の方は2名となっている。

会長：来年度の第1回目の協議会開催の際に前回提出をした意見書をもとに、皆さんの意見を聞いて、まとめて協議会の意見として出していくようにしたい。

会長：他になれば議題を終了としたい。